資料３

令和５年度　第１回小牧市在宅医療･介護連携推進協議会

小牧市在宅医療･介護連携推進事業進捗状況報告

令和６年２月８日（木）

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

事業項目	取組み内容	報告委員	ページ
（ア）地域の医療・介護の資源の把握	（１）歯科医の訪問歯科診療の実施状況	加藤委員	２～5
	（２）薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況	石田委員	6
	（３）各介護保険サービス事業所についての情報共有	中内、岡田、大野委員	7～８
	（４）医療・介護資源の情報収集・管理	磯村、伊藤委員	9
（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	（１）医療・介護の関係団体との連携	磯村、岡田委員	10～11
（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	（１）医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携	磯村、大野委員	12～13
	（２）副科受診の支援	磯村委員	14
	（３）摂食嚥下サポートチームの活動支援	磯村委員	15
（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援	（１）病院とケアマネジャーの連携	田中、小松委員	16～17
	（２）ICT の運用（機能強化）	伊藤、磯村、田中委員	18～19
（オ）在宅医療・介護に関する相談支援	（１）在宅医療・介護連携サポートセンターの運営	磯村委員	20
	（２）在宅医療・介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携	磯村、岡田委員	21
	（３）アウトリーチ型の相談体制の充実	田中、磯村、岡田委員	22～23
（カ）医療・介護関係者の研修	（１）多職種連携研修の実施	磯村、板谷、大野、岡田委員	24～27
	（２）在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施	田中、河内、磯村委員	28～29
（キ）地域住民への普及啓発	（１）市民向け講演会の実施	伊藤委員	30
	（２）在宅医療・介護に関する普及啓発	磯村委員	30
	（３）サロン等における在宅医療・介護に関する取り組み	加藤、河内委員	31
	（４）わた史ノートの普及・啓発	伊藤、岡田委員	32～33
（※）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	（１）サポートセンター連絡会議	磯村委員	34
	（２）広域連携の推進	増井委員	35

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ア）地域の医療･介護の資源の把握

（１）歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
加藤委員 《前回報告》 佐々木前委員	**1.訪問歯科診療の対応表** **【進捗状況と今後の予定】** ・「こまきつながるくん連絡帳」への歯科診療所の機能情報を掲載した。訪問歯科診療の内容･訪問距離については各歯科医院での温度差があり、介護支援専門員への情報提供に関しては見合わせている状況である。 **【実施に向けての課題】** ・小牧市歯科医師会で診療内容や訪問距離についての詳細な聴き取りができればよいが、コロナ禍でもあり出来ていない状況である。 訪問歯科難民が生じないように適切な情報提供ができる体制を構築したいが、個々の会員の考え方が異なっているために統一出来ない。 また、他市町からの商業的な訪問歯科医療の参入があり、無視はできなくなっている現状がある。 **2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正** **【進捗状況と今後の予定】** ・歯科医師会の HP 上で、糖尿病医歯薬連携の関連マップを追加するなど、地域包括ケアを意識した情報提供をさらに進めていく予定である。 **【実施に向けての課題】** ・HP の検索の分かりにくい部分の修正は、契約上の問題で変更は難しいので、別の方法を検討中である。	**1.訪問歯科診療の対応表** **【進捗状況と今後の予定】** ・「こまきつながるくん連絡帳」「小牧市歯科医師会 HP」の内容に変更はない。地域包括ケアの観点から中学校区範囲での訪問距離内での対応が望ましいと考えて、HP の方は区分けしてはいるが各歯科医院での許容範囲なども異なっており、大々的な情報提供は行えていない。 **【実施に向けての課題】** ・歯科医院が診療所を主体とした診療体系であり、訪問歯科を行うにはもう一つの診療体系を構築する必要がある。その為の費用や人員確保を用意する事にもハードルがあり、また　休日や休憩時間を潰す必要があるために見えない訪問診療へのハードルの高さは感じられる。 **2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正** **【進捗状況と今後の予定】** ・「小牧市歯科医師会 HP」に糖尿病医歯薬連携の関連マップを追加した。その他の変更点はない。 **【実施に向けての課題】** ・「小牧市歯科医師会 HP」内の検索に関しては分かりにくい部分があるが、変更は契約上の問題で難しいために、検索部位も簡易的な情報提供を行う必要があると考えている。（いつも見ている者からすると分かるのだが、初めて見る方には親切な HP ではない）

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療･介護の資源の把握

(1)歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
加藤委員 《前回報告》 佐々木前委員	**３.歯科衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔衛生管理ができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、歯科衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有化、個々のレベルアップ、連携を行う。** **【進捗状況と今後の予定】** ・2023 年１月９日（月）に小牧市歯科医師会会員の西田が尾張北部の歯科衛生士会に対して、訪問歯科診療における専門的な口腔衛生管理のあり方についての研修会を行った。コロナのためにオンラインとなったが、この後も実地を含んだ研修会の依頼もあり歯科医師会としてもサポートしていく予定である。 ・歯科衛生士の雇用問題に関しては継続しており、これは小牧市だけではなく全国的な問題となっている。 **【実施に向けての課題】** ・歯科は診療所での処置が基本である為に、訪問歯科の依頼が少なくても多くても問題が生じる状況である。地域包括ケアの中では、近在の「かかりつけ歯科」が対応する事が望ましいと思われるが、実際はそうなっていない。 ・歯科医師・歯科衛生士共に総合病院などの勤務経験がある者が少ないため、全身疾患がある患者への訪問歯科診療に関しては対応が難しいケースが多くなっている。施設への訪問歯科診療は今後も増加することが予想されるが、在宅に関しては様々な問題を解決しないと増加の方向にはならないと思われる。	**３.歯科衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔衛生管理ができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、歯科衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有化、個々のレベルアップ、連携を行う。** **【進捗状況と今後の予定】** ・当会の西田が 2023 年１月９日（祝）、９月 24 日（日）に尾張北部の歯科衛生士会会員に訪問歯科診療での「水を使わない口腔ケア」についての実技を含めた講義を行った。身体的なハンディを抱えた要支援・要介護者の口腔ケアや歯科治療は健常者と同等に考える事は難しいが、学校教育自体や制度が追いついていない。今後も歯科衛生士のレベルアップに寄与出来るように対応していく予定である。 ・当会で完全に把握はしていないが歯科衛生士学校で講義を行っている会員の先生もいる。 **【実施に向けての課題】** ・歯科衛生士の雇用問題に関しては全国的な問題であり、小牧市だけではないが小牧出身の歯科衛生士が名古屋に流出してしまっているという点はデータがある訳ではないので憶測の域を出るわけではないが可能性はありうる。（金銭的な事も含めて） ・魅力のある歯科医院作りが必要であると思われるが、各歯科医院の温度差はあり統一させる事は不可能である。歯科衛生士も偏在しているのが現実であり、沢山いる歯科医院といない歯科医院の二極分化している状況である。基本的に歯科医院は従業員 ５ 人未満の零細企業である事がほとんどであり、また小牧市の多くの歯科医院の先生が 60 歳前後である事や働き方改革も含めた雇用問題の時代の変化なども歯科医院にとっての歯科衛生士の保持は負担となっている可能性が高いと考える。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(1)歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
加藤委員 《前回報告》 佐々木前委員	**４.介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認** **【進捗状況と今後の予定】** ・小牧摂食嚥下サポート（ごっくんサポート）チームに小牧市歯科医師会会員が参加しており、チームで YouTube からの情報発信や研修会を行っている旨の報告を受けている。今後も歯科医師会が全面的にサポートして行く。 **【実施に向けての課題】** ・小牧市歯科医師会でも YouTube などの情報発信を行っていく準備は出来ているが、どのような内容を優先するのかという点に関しては会員の考え方がそれぞれ異なる為に、その擦り合わせが必要である。	**４.介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認** **【進捗状況と今後の予定】** ・ごっくんサポートチームに小牧市歯科医師会会員が参加しており、そちらへの依頼があることは連絡を受けている。出向は有志の会員であるが、会としても全面的にサポートはしている状況であり、チームで作成した YouTube に関しても現歯科医師会執行部（12 名）は全員が視聴してフィードバックをしてもらえるようにアンケートにも協力させていただいた。 **【実施に向けての課題】** ・YouTube の視聴を全会員に行う事は難しいと思われるが、興味のある会員には積極的に情報提供を行っていく予定である。また歯科医師会でも HP からＹouTube にリンクさせて市民や他職種への情報提供を行っていきたいと考えている。（ＨＰより行う事は可能な契約である。）

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(イ)　地域の医療・介護の資源の把握

(1)歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
加藤委員 《前回報告》 佐々木前委員	**5.在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討** **【進捗状況と今後の予定】** ・介護支援専門員に対して、口腔機能管理、口腔衛生管理と口腔ケアの必要性を周知徹底するために、地域ケア会議等には可能な限り参加して、その重要性について発表をしていく。 **【実施に向けての課題】** ・お昼の時間帯に開催されることが多く、診療時間を削って参加すると経営的に負担となるため、歯科の参加が少ない。会員の負担が少なくなるような時間帯での開催を希望したい。	**5.在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討** **【進捗状況と今後の予定】** ・地域ケア会議等には可能な限り参加していく予定である。また今後はオーラルフレイルがフレイルやサルコペニアに対する介護予防の入り口のキーなることは間違いなく、国からも歯科が口腔機能低下症を行う事を明示されていることを考えると要支援前からの対応が必要となってくる。診療所に来られている機能が落ちた患者さんや介護認定で要介護にならずとも要支援や総合事業のサービスが必要となる方がターゲットとなると思われ、地域包括支援センターの介護支援専門員との連携がまずは必要である。そうなる事で今まで以上に歯科と介護分野との連携が生まれてくる可能性がある。 **【実施に向けての課題】** ・歯科医師が地域ケア会議に参加する歯科医師が同じであり、なるべく多くの先生が参加するように会の中でも啓蒙する必要がある。 ・オーラルフレイルから口腔機能低下症への診断をするには歯科医院での検査を行う必要があるが、購入機器や診療時間の確保など全ての歯科医院で検査を受け入れる訳ではない。一般市民や介護支援専門員からも現時点で受け入れできる歯科医院が分かるようにしていく予定である。ただし、当会としては小牧市の全ての歯科医院で検査対応ができるように進めている。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ア）地域の医療･介護の資源の把握

（２）薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」））	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
石田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・一時受け窓口の状況 薬剤師会から薬局への在宅依頼は誘導になる恐れがある。そのため、在宅対応薬局のリストの情報を提供している。 ・予定 在宅対応薬局リストの更新 薬局薬剤師の地域活動増加による顔が見える関係の構築 **【実施に向けての課題】** ・在宅対応リストの更新方法（内容含め） ・薬局薬剤師の外部活動の推進	**【進捗状況と今後の予定】** ・在宅対応薬局リストの更新 現在何も出来ていない状態。在宅対応薬局のどのような情報が欲しいかを確認していく。 **【実施に向けての課題】** ・在宅対応薬局の情報に何を入れるべきか 最近では無菌調剤の可否も重要な情報と考えている。無菌調剤可能店舗は少ない可能性もある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ア） 地域の医療･介護の資源の把握

（３）各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
中内委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度の介護展は 6/19（日）にふれあいセンターにて約３年ぶりの会場を使用した対面式で行い、212 名の来場がありました。来場者が一定以上にならないように混雑時には入場制限を行うなど、感染対策を万全にした上で多くの市民の皆様にご来場いただきました。事前告知として、広報こまきや中日新聞の掲載に加え、名鉄や JR の鉄道主要駅や市内金融機関、スーパーマーケットなどへのポスター掲示を実施しました。当日のハローワークのお仕事出張相談、マイナンバーカードの申請コーナーの設置など、久しぶりの対面での開催を意識した取組みを事務局、市介護保険課、そして事業所連絡会の三者間が協働することで、コロナ禍の中にも関わらず大きな混乱もなく無事に終えることができました。 ・次年度の介護展は 6/25（日）小牧市公民館にて開催を予定しておりますが、今年度の実施を踏まえ、コロナ禍の中でも安心して参加できる企画を検討しています。例えば毎年行われていた会場内での飲食や骨密度測定などの見合わせ、開催時間の短縮やソーシャルディスタンスの保持など、絶えず会場内が密にならないような声掛けや誘導案内を検討します。 **【実施に向けての課題】** ・介護展の在り方について、単なる事業所の PR ではなく再度この機会に「主役は誰か」「事業所の役割」を考え直すべきだと思う。介護の入口に立った市民の方々が「そう言えば」と思い出してもらえるような安心を日頃から感じて頂けるように、年に一回の大々的な開催ではなく、今回のような恒常的かつ日常的な取組みを工夫する時期でもあると思います。その為にも日頃から事業所同士の連携を図る仕組み作りと意識改革が課題だと思う。 ・コロナ禍で各事業所の優先事項は、サービスの継続であり、各種研修への参加も二極化している面もあるが、様々な要因で参加できないことも事実である。事業所間の連携の重要性を再度共有すると共に、参加しやすい、参加したいと思うような魅力的な研修や行事の企画などが、我々事業所連絡会の課題であると考える。	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和５年度の介護展は 6/25 に小牧市公民館で 4 年ぶりに開催し、308 名の来場者がありました。当日の協力事業所も 85 事業所、123 名と前年度を上回り、市民の皆様の関心の高さと、事業所の連携協力姿勢が数字に反映されたと思います。開催時間を敢えて短縮し、来場記念品やお弁当の試食、各種測定器などを止め、事業所ブースの PR に注力したり、訪問介護や訪問入浴のデモに加え、花王カスタマーマーケティング(株)様による「人生 100 年！おいしく食べて、楽しくおしゃべりするために!」の内容の特別講座を開催いたしました。 ・次年度は再びふれあいセンターでの開催になりますが、基本コンセプトは踏襲しつつ、対面での開催を予定しています。必要に応じた感染対策を行いながらも、個別での相談を希望される場合にしっかり対応できるような配置と来場者の満足度が向上できるような企画を検討しています。 ・会員事業所スタッフの資質向上を目的として、今年度７回の研修会を予定しております。R6,1/17 現在、5 回終了、平均約 17 事業所 28 名のスタッフが研修を受講しました。また市民の皆様に介護保険制度をより理解して頂くために、市民講座も年１回開催しております。今年度は 11/21,22 に小針の郷にて「介護保険について学ぶ講座～あなたに介護が必要になったら～」実施しました。両日で 42 名の市民にご参加頂き、介護保険の申請方法やサービス利用について理解を深めて頂きました。 **【実施に向けての課題】** ・介護展の参加事業所は 85 事業所と全体の約 6 割が何らかの形でご協力を頂いていますが、平時の事業所連絡会の活動においては更に少ないのが現状です。連絡会自体の在り方についても現在協議を重ねており、「介護展」「研修企画」を主とした定例の集まりではなく、「各事業所が共有する課題」について事業所間を超えた検討ができるような体制づくりを準備しています。 ・研修や部会への「参加」が目的ではなく多事業所及び多部会との「連携」で得られる「対価」を明確にすることを次年度以降の課題と位置づけています。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ア）地域の医療･介護の資源の把握

（３）各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度は感染予防に留意しながら、６グループに分かれ事例検討会を開催した。 ２回開催：２グループ ３回開催：２グループ ４回開催： ２グループ 昨年度を上回る成果となり、ケアマネジャーと包括の情報共有、協働実践の機会となっている。 ・権利擁護部会の取り組みとして、各担当包括の社会福祉士が居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、グループホーム等へ出向いて、「高齢者虐待防止研修」を実施した。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍となって、丸３年が経過した今年度は、「with コロナ」としての取り組みを試みたといえる。 感染状況によっては、参加を見送る事業所も中にはあったが、調整を図りながら柔軟に実施していくことで今後も継続していきたいと考えている。	**【進捗状況と今後の予定】** ・昨年に引き続き、６グループに分かれ、現時点で各グループともに３回開催できている。 ・６グループそれぞれに、地域包括支援センター職員が参加し、介護支援専門員連絡協議会と協働して、その時々の事例に沿った勉強会を実施することができた。 ・今年度は、包括主催の事例検討会（R６年２月予定）に向けて 小規模多機能型居宅介護連絡協議会と協働して開催する運びとなり、打合せ会議を済ませ、目下、開催準備を行っている。 ・昨年度に引き続き、各包括の社会福祉士による「高齢者虐待防止研修」を市内サービス事業所に向けて実施できている。 ・各介護保険サービス事業所との連携に関しては、「こまきつながるくん連絡帳」を活用して、タイムリーな情報共有が行えることが定着してきている。 **【実施に向けての課題】** ・対面での情報共有の機会は、感染症予防に努め開催していきたいと考えている。
大野委員		**【実施に向けての課題】** ・令和５年４月の小牧市介護支援専門員連絡協議会と小牧市介護保険サービス事業者連絡会の総会において、「さあ、作ろう！地域密着型ＢＣＰ」と題して研修会を開催。すべての事業種に対して災害時に助け合える事業所や専門職のネットワークの構築を提唱。各事業所で地域密着型のＢＣＰ策定を進めることとした。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

地域の医療・介護の資源の把握

（４）医療・介護資源の情報収集・管理

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・新規開業クリニックの情報収集とこまきつながるくん連絡帳「医療とケアマネ連携一覧」へ掲載を依頼した。 ・訪問看護ステーション一覧の情報更新を行うとともに、こまきつながるくん連絡帳「医療とケアマネ連携一覧」へ掲載を依頼した。 ・医師会会員へ県医師会依頼「実態調査」実施。 ・医師会会員へ在宅医療に関する調査を実施し最新の情報収集を行った。 **【実施に向けての課題】** ・「医療とケアマネ連携一覧」の活用状況の確認と更新時期の方法等検討が必要と思われる。	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和５年「医療とケアマネ連携一覧」医師会の更新情報収集を行い令和５年 12 月にこまきつながるくん連絡帳へ掲載を依頼した。 ・「医療とケアマネ連携一覧」更新時期について地域包括支援センターケアマネジメント部会と検討して、３年毎更新とする。 R6 年度は薬剤師会更新。 R7 年度は歯科医師会更新。 訪問看護ステーションついても同様 3 年毎とするが、新規開設ステーションについては毎年、訪問看護部会担当者へ情報収集を依頼。 ・医師会会員へ県医師会依頼「実態調査」実施。 **【実施に向けての課題】** ・市民への「訪問診療実施医療機関」情報はホームページのみ。 ・「医療とケアマネ連携一覧」更新時、活用状況の確認と掲載内容も検討が必要と思われる。
伊藤委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和４年３月末に「医療とケアマネ連携一覧」を更新し、こまきつながるくん連絡帳へ掲載。適宜、活用していただいている。 **＜医療とケアマネ連携一覧掲載内容＞** ・医師会一覧 ・歯科医師会一覧 ・保険薬局一覧 ・居宅介護支援事業所一覧 ・訪問看護ステーション一覧 **【実施に向けての課題】** ・定期的に情報を更新し、必要な情報を提供することができるようにすることと、内容の充実。	**【進捗状況と今後の予定】** ・リストの種類が増加してきたこと、また掲載する医療機関や施設等の数も増加していることから、リストの更新頻度等について、地域包括支援センター連絡会議ケアマネジメント支援推進部会で協議。医療機関等への全体的な調査は ３ 年に１回の頻度とし、新規開業又は廃業による医療機関の加除のみ毎年行うこととした。 ・令和５年 12 月に「医療とケアマネ連携一覧」のうち、「医師会一覧」を更新し、こまきつながるくん連絡帳へ掲載。適宜、活用していただいている。 **【実施に向けての課題】** ・定期的に情報を更新し、必要な情報を提供することができるようにすることと、内容の充実。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（イ）在宅医療･介護連携の課題の抽出と対応策の検討

（１）医療･介護の関係団体との連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・在宅医療･介護連携サポートセンターも地域包括ケア推進担当管理者会議で情報共有し医療介護の連携を強化している。連携のためのネットワークができるとよい。 ・地域包括支援センター権利擁護推進部会には、わた史ノートや ACP について検討時に参加して情報共有している。また多職種連携研修会で身寄りのない人への支援をテーマに開催した。今後も多職種で検討していけるよう研修会を継続していく。 ・多職種連携カンファレンスに参加している。医療の視点で提案できるよう打合せにも参加していく。 ・専門職とケアマネ意見交換会に参加した。 **【実施に向けての課題】** ・地域ケア会議へ参加できていない。	**【進捗状況と今後の予定】** ・地域包括ケア推進担当管理者会議で情報共有し医療介護の連携を強化している。 ・地域包括支援センター権利擁護部会にはわた史ノート改訂や ACP について検討時に参加して情報共有している。また「多職種連携研修会」では身寄のない人への支援をテーマに開催した。今後も多職種で検討できる課題で研修会を継続する。 ・多職種連携カンファレンスに参加している。医療の視点で提案できるよう打合せにも参加している。 ・多職種連携 PT にも入っており３チームに分かれて検討課題について実現可能な具体案を協議した。 **【実施に向けての課題】** ・今後ますます医療介護関係機関の連携強化できるとよい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（イ）在宅医療･介護連携の課題の抽出と対応策の検討

（１）医療･介護の関係団体との連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度の「ケアマネジメント支援会議」では、「生活困窮」「消費者被害」「障害サービス併用」「支援が必要な家族の対応」「医療依存度が高い方への支援」「権利擁護」と６つのテーマについて開催した。 それぞれのテーマに沿って、福祉総務課、小牧市消費生活センター、障がい福祉課、春日井保健所、小牧市在宅医療･介護連携サポートセンター、尾張北部権利擁護支援センターにアドバイザーとして参加頂き、具体的なアドバイスや社会資源の活用について、情報を共有することができた。また、ケアマネジメント支援会議を通して、医療、地域、各支援事業所や専門職との関わり方について、ケアマネジャーが気づきを得られる機会となった。 ・多職種カンファレンスは、昨年度開催が順延となった重度化防止を5/19 に開催し、自立支援を３回、1/19 に予定している重度化防止を　含め、５回開催となる。事例に沿った専門職者への働きかけが功を奏し、専門職参加率が高く、昨年度の課題であったケアマネジャーの参加率も徐々に上がってきている。 **【実施に向けての課題】** ・ケアマネジメント支援会議におけるテーマに沿ったアドバイザーの起用が好評であったことから、次年度も継続して実施する。前半･後半でグループを入れ替え制としたため、討議に関する時間が足りないという意見もあったことから、次年度は時間配分について再考し、十分な討議の場を設けたいと考えている。 ・多職種カンファレンスの課題としては、ケアマネジャーの参加率を上げていく働きかけを継続し、多職種で支える視点を持つことで、ケアマネジメントの質の向上を目指していきたい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・「ケアマネジメント支援会議」は、①「生活困窮も含めた多問題・多機関が関わる事例」、②「アルコール依存症」③「認知症支援」④「障害と介護」⑤「虐待対応と予防」と５つのテーマとした。 アドバイザーとして、①福祉総務課　②春日井保健所、断酒会当人③認知症認定看護師（訪問看護ステーション管理者）④障がい福祉課　⑤包括管理者（社会福祉士）に依頼し、実施した。 今年度の成果は、それぞれを地域課題として捉え、その具体的な解決について、グループ討議ができたことが挙げられる。 また、アンケートの結果からも、「参加してアドバイザーから有用な情報を得ることができた。」、「相談窓口が判って良かった。」「困り事について、話せる場があって良かった。」という意見を多くいただき、「ケアマネジメント支援会議」の開催目的を達成できたといえる。 ・令和３年度･令和４年度で開催した多職種カンファレンスの事例概要から、地域課題の分析と情報共有を行い、その具体的な課題解決に向けてチーム員メンバーで討議を重ねた。 新たなサービス及び資源の開発･政策への提言などを検討している。 **【実施に向けての課題】** ・ケアマネジメント支援会議は、地域ケア会議の４つの機能に加え、ケアマネジャーの後方支援としての機能を果たしていけるように引き続き開催していきたいと考えている。 ・今後は、多職種カンファレンスから分析された地域課題の解決に向け具体的な実践を担うワークチームも必要と想定される。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

（１）医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・ニーズにあった「医療・介護勉強会」を開催することによりお互いの理解を深め連携を強化している。 ・訪問看護・ケアマネジャーとの連携強化に向けて医療に特化した勉強会を開催した。ニーズにあっているか医療介護関係者と調整していく。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍での開催は対面、オンライン両方法ですすめているがネット環境か、音声など課題があった。	**【進捗状況と今後の予定】** ・医療に特化したテーマで「医療介護勉強会」を開催し、お互いの視点を知り、理解を深め連携強化に向けて３回シリーズで勉強会を開催した。 ・今後も開催に向けては医療介護関係者と調整していく。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍で開催方法や参加方法が選択可能になった。オンライン開催については勉強会企画の内容により調整が必要である。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

（１）医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
大野委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・昨年度もコロナ禍で動きが取れなかったが、今年度も日常の業務に追われ交流事業は行えなかった。 ・訪問看護部会が行った「地域共生社会の実現に向けて～ユニバーサル・ホスピスマインド～」研修には、内容が医療的な要素が多いと思われ、参加が少なかった。 ・コロナ禍で介護、看護の現場は煩雑になっているが、このような時だからこそ、改めてオンラインによる交流会や事例検討会が必要だと考える。 **【実施に向けての課題】** 近年、新しい訪問看護事業所も増えており、コロナ禍といえど相互の交流の機会が必要となっている。コロナの状況を見極め、相互に現状を知り、現在の課題を共有できる機会を開催したい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和５年度９月２１日（木）に「教えて！ここが知りたい訪問看護」～医療保険と介護保険、制度の違いを知ろう～というテーマでケアマネジャーと訪問看護との合同の研修を実施した。参加者は６７人（ケアマネ58、訪看９） ・研修の中では、訪問看護の制度上の講義と相互の連携のあり方に対しての意見交換を行った。 ・主な意見としては、ケアマネ、訪問看護双方の役割の理解や情報不足によって医療と介護が合致あったチーム形成ができていないことや、訪問看護の導入のタイミングや医療の相談の仕方がわからないなどといった連携の取りにくさの課題や、ICT を相互でうまく使えていない状況、ACP の取り組みが進んでいないなどの課題点が明らかになった。 ・今後、より密接な連携体制を構築すべく、次年度以降も合同研修会などを開き、明らかになった課題について改善策を検討することにしている。 **【実施に向けての課題】** ・日中は訪問看護がサービス提供時間にかかるため参加しづらく、研修の開催時間に配慮する必要がある。顔の見える関係づくりのためにも、より参加の多い研修が望ましいと考えている。 ・コロナ禍で連携が取りにくい時期があったことと、市内近隣で新しい訪問看護ステーションが急に増えたことで相互のつながりが薄くなったとことはあるが、ケアマネジャーと訪問看護の連携は医療と介護の実務的な連携の核となるため、今後も相互に交流を深められる場をつくり、より効率的・効果的な連携体制の構築を目指していきたい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

（２）副科受診の支援

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・副科紹介ツールの継続。今年度、主治医からの依頼４件、ケアマネジャーから０件、あり対応した。 ・副科訪問について問い合わせ２件あり。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍で、副科訪問が難しい状況。すべての依頼を受けることができない。	**【進捗状況と今後の予定】** ・副科紹介ツールは今までどおり紙ベースで継続している。 主治医からの訪問依頼 2 件、ケアマネジャーから 0 件、副科訪問診療に繋いだ。1 件は器材の準備ができていないとの状況で、主治医と同行で訪問対応になった。 **【実施に向けての課題】** ・感染症が流行時には、対応が難しい。また処置が必要な場合は対応不可能との回答になることがある。 ・副科の診療科によっては訪問可能な医師が少ない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

（３）摂食嚥下サポートチームの活動支援

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・小牧在宅・摂食嚥下サポートチーム（小牧ごっくんサポート）は定期的に会議（オンライン）や会議前打合せを開催している。 ・「摂食嚥下評価スコア 2021」（小牧ごっくんサポート小牧版）は動画収録した。小牧の評価基準になるよう広めていく。 ・専門職による録画収録資料を作成した。 ・今後運用していくために、チーム員在籍施設事業所へ YouTube 発信して現在修正箇所等検討中であり、今後、小牧市内の事業所、施設へ発信していき、摂食嚥下についての知識を深めたい。 ・今年度第 1 回オレンジカフェにてテーマ：オーラルフレイル予防と認知症を歯科衛生士が講師で対応した。サポートセンターも同行した。 **【実施に向けての課題】** ・小牧在宅摂食嚥下評価スコアの活用方等取り決めをする必要がある。 ・出張勉強会の講師人員確保が課題であるが、依頼状況を確認しながら調整しておこなう。	**【進捗状況と今後の予定】** ・小牧在宅・摂食嚥下サポートチーム（今後の名称を小牧ごっくんサポートとする）は定期的に会議（オンライン）や会議前打合せを開催し事務局として支援している。 ・小牧ごっくんサポート登録メンバーは 1 月現在 30 名。 ・「摂食嚥下評価スコア 2021」（小牧ごっくんサポート小牧版）は使用の仕方をマニュアルにそって動画収録した。あわせて、11 項目の専門職による動画講座受講を小牧市内の医療介護関係機関管理者宛、へ発信した。前期は 4 事業所、後期 46 事業所から受講申し込みがあった。 ・オレンジカフェの依頼にてテーマ：低栄養と脱水について管理栄養士が講師で対応、サポートセンターも同行した。 ・今後、動画講座受講事業所からのアンケート結果を集計し課題を検討して内容や、発信方法等見直し、来年度も活動する予定。 ・今回、初めてチーム内で症例検討を予定している。 ・チームへ事業所から講師依頼がある場合はチームで検討して対応可能であれば、チーム内専門職に依頼する等支援している。 **【実施に向けての課題】** ・出張勉強会の講師依頼については人員確保が課題であるが調整可能であれば対応していく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（エ）医療･介護関係者の情報共有の支援

（１）病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和３年度に「医療･介護の連携に関する実態調査」を実施。前回行った平成３０年度の調査内容と比較すると、「主治医に担当ケアマネであることを知らせている」「主治医に情報をもらっている」のポイントが上がっており、主治医との連携について意識が上がっていることがわかる。 ・また、主治医への連絡方法についても「メール」が大幅に上がっているとともに、つながるくんへの登録人数も増えており、ICT 活用が進んでいることがわかる。 ・「医療と介護の連携シート」の活用については、活用しているポイントに差はないが、「医療機関に送っていない」ポイントが下がっている。 **【実施に向けての課題】** ・現在、国立長寿医療研究センターの主導で、行政、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャーなどが参加し、入退院調整支援事業が行われている。その事業の目的の一つに、入退院連携マニュアルの策定と連携体制の構築があり、令和５年度では小牧市でどのような体制を構築するのか検討を進める必要がある。	**【進捗状況と今後の予定】** ・令和３年度から国立長寿医療研究センターの主導で海部･尾張北部医療圏域で３ヵ年にわたり愛知県入退院調整支援事業に取り組んできた。この間、病院と在宅の連携ルールづくりに取り組み、以下の４点をまとめた。 《尾北医療圏ルール》 １．ケアマネジャーの名刺を健康保険証と一緒に保管する。 ２．病院はケアマネジャーへ入院連絡が行われたか確認、もしくは連絡を行う。 ３．ケアマネジャーは入院後 3 日以内に病院へ入院時情報提供を行う。 ４．病院はケアマネジャーへ入院時情報の受領を連絡する。 ・このルールについては、８～１０月までプレ運用を行っており、2/13 に発表会にて公表する予定。 ・また、この連携には従来から使用する「入退院連携シート」や看護サマリーなどを活用する。 **【実施に向けての課題】** ・愛知県入退院調整支援事業では、各市町の情報共有や連携に関する課題点を話し合うことができた。 ・この後は、小牧市のスタイルを構築する段階に来ているため、プレ運用の検証をしっかり行い、市内･近隣の関係者と今まで話し合ってきたことを整理し、仕組みを作り上げることが必要だと考える。 ・また、この仕組みやルールを関係機関へ周知し、運用できるようにしていくことが大切である。 ・併せて、「医療と介護の連携シート」の見直しも行っていきたい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（エ）医療･介護関係者の情報共有の支援

（１）病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
小松委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・２０２１年 「医療と介護の連携シート」で連携した件数　211 件 その他の用紙の利用　47 件 小牧市外　338 件 ・２０２２年（４月～１２月) 「医療と介護の連携シート」で連携した件数　254 件 その他の用紙の利用　29 件 小牧市外　254 件 ・家族の面会については、昨年度と同様である。 ・WEB 会議は、１７件実施した。 主に退院前カンファレンスで在宅医が参加する場合がほとんどである。 **【実施に向けての課題】** ・院外研修は、オンラインで行われているが、感染対策を行い、対面での研修も実施している。自院以外の参加者については、オンラインが主である。	**【進捗状況と今後の予定】** ・2022 年度（2022 年４月～2023 年３月） 「医療と介護の連携シート」で連携した件数　601 件 その他の様式（小牧市内）　52 件 小牧市外　351 件 ・2023 年（１月～１２月） 「医療と介護の連携シート」で連携した件数　710 件 その他の様式（小牧市内）　66 件 小牧市外　400 件 ・家族の面会が禁止されていた令和５年７月は、オンラインによる調整会議も行っていた。（2022 年 12 月～2023 年３月に 13 件実施） ５月に感染症法の分類が５類に変更されてからは、来院する介護関係者が多くなった。退院前カンファレンスのケアマネジャー参加は 289 件で、月の平均は 24 件だった。 **【実施に向けての課題】** ・主に FAX で情報交換をしている。入院時、ケアマネジャーの名前や利用している施設が把握できるとその後の調整も早い。地域との連携に関するルールを院内にも定着させていく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（エ）医療･介護関係者の情報共有の支援

（２）ＩＣＴの運用（機能強化）

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
伊藤委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・電子＠連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」の登録施設数は市内 284 か所、市外 28 か所。登録患者数は 272 名。（令和４年 12 月末時点） ・ワクチン接種の連絡等に利用するプロジェクトへ参加する目的で医科医療機関の登録が増加したほか、デイサービス・訪問看護ステーションなどの介護事業所の新規開業によって増加している。また、昨年 11 月ごろから電子介護認定審査会を試験的に開始するなど、医療・介護連携以外の場面でも活用が検討されている。 ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」事業における駐車場提供者は、令和４年 12 月末時点で 31 者 71 台。令和４年 4～12 月末までの利用件数は 34 件。 **【実施に向けての課題】** ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」について利用予約が集中する駐車場がある一方、１回も使用されていない駐車場も多い。現在は、在宅医療機関や地域包括支援センター等からの要望を受け駐車場の提供依頼を行っているが、提供者と駐車場の地権者が異なる場合（賃貸借契約が絡んでいる場合）などは、駐車場提供の同意を得にくいことがある。 また、こまきつながるくん連絡帳内に「こまきハートフルパーキング」プロジェクトを作成し利用法を掲載するほか、駐車場が提供されるたびに記事を更新して利用促進を図ったものの、大きく利用が伸びていないことから、利用促進に向けた周知と必要とする場所への駐車場の確保が課題。	**【進捗状況と今後の予定】** ・電子＠連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」の登録施設数は市内 287 か所、市外 32 か所。登録患者数は 355 名。（令和 5 年 12 月末時点） ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」事業における駐車場提供者は、令和５年 12 月末時点で 34 者 76 台。令和５年 4～12 月末までの利用件数は 136 件。（前年比 102 件増） ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」について、職能団体等に対して一律に駐車場の提供依頼を行うのではなく、地域からの具体的な整備要望に基づいて地権者等と交渉した駐車場の利用については利用頻度がかなり多い。今後も引き続き、地域からの依頼に基づき、駐車場の整備を図っていく。 **【実施に向けての課題】** ・桃花台地区の駐車場の整備が課題となっている。桃花台地区は過去から車の保有率が高いことに反比例して駐車場が少ない問題があり、特にマンションで訪問サービスを受ける際、事業者用の駐車場が確保できないという事例がたびたび報告されている。特に障がいの重度訪問看護で 24 時間体制での見守りが必要な事例について、夜間の駐車スペースの確保が出来ず、解決までに時間を要したケースがあった。 ・県営住宅の空き駐車場に対する需要が高いため、愛知県住宅供給公社にこまきハートフルパーキング事業での活用について問い合わせたが、『不特定多数の利用者が前提となる』という性質上、駐車場の管理監督の問題が発生して活用は困難であるとの結論に至った。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（エ）医療･介護関係者の情報共有の支援

（２）ＩＣＴの運用（機能強化）

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**進捗状況と今後の予定】** ・医療介護勉強会や研修会開催の周知、会議開催案内資料や報告書をこまきつながるくん連絡帳にて発信している。 ・研修会打合せについてもメッセージ機能にて連絡調整を行っている。 ・訪問看護ステーション更新のため情報収集を行い、「医療とケアマネ連携一覧」に掲載を依頼した。 ・新規開業医院には、訪問して情報収集させていただくとともに、こまきつながるくん連絡帳の登録と「医療ケアマネ連携一覧」への掲載についてお願いした。 **【実施に向けての課題】** ・医療機関もこまきつながるくん連絡帳への登録数が伸びたが、コロナワクチン以外での連携ツール活用はあまり伸びていない。 ・未登録の先生方への承知は従来の FAX 等である。【	**【進捗状況と今後の予定】** ・医療介護勉強会や多職連携研修会開催の周知、各会議開催案内、資料や報告書について「こまきつながるくん連絡帳」にて発信している。 ・研修会打合せ、会議前打合せについてもメッセージ機能にて連絡調整するなど、活用している。 ・医療とケアマネ連携一覧を掲載して、医療介護関係者へ情報共有している。 ・新規開業医院に訪問の際は情報収集と協力をお願いするとともに、こまきつながるくん連絡帳の登録と医療とケアマネ連携一覧への掲載を依頼した。 **【実施に向けての課題】** ・医療機関の登録はコロナワクチン関係での活用に限られる医療機関も多い。 ・今後、医療介護間での災害訓練情報共有に ICT ツールが活用可能か。
田中委員		**【進捗状況と今後の予定】** ・ケアマネジャーと訪問看護の合同研修会で ICT の活用の仕方について意見が出された。 ・緊急時やタイミングなど、ICT の使用状況が事業所によって違っている。 ・変化や対応など、重要なことを見落とさないよう記録の方法やルールが必要。 ・連絡方法の一本化が必要（事業所や市町村によって ICT が違う。医療職はメディカルケアケアステーションの使用が多い。） **【実施に向けての課題】** ・医療関係機関の現状を確認し、つながるくんの活用を奨励するとともに効果的な ICT の活用について検討することが必要。 ・医療･介護連携研修会などで、連携の成功例を共有するなど、関係機関に分かりやすい提示の仕方が望ましい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（オ）在宅医療･介護に関する相談支援

（１）在宅医療･介護連携サポートセンターの運営

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・サポートセンター会議を隔月開催し各関係機関に事業計画、事業報告を行っている。また活動報告を行い事業内容の承認をえている。 ・令和３年度は 67 件相談や問い合わせを受けた。コロナ禍での在宅療養者家族の相談や施設管理者の施設内コロナ感染者の訪問診療の対応などの相談もあった。 ・今後とも関係機関や市民からの相談に対し、サポートセンターとして情報提供ができるよう、各医療介護情報を更新して対応していく。 ・医療介護関係者の顔のみえる関係ができつつあるが、コロナ禍で困難なことが多かった。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍の在宅医療介護連携。	**【進捗状況と今後の予定】** ・サポートセンター会議を隔月開催した。各関係機関に事業計画、事業報告を行っている。活動報告を行い事業内容の承認をえている。 ・令和４年度は、63 件の相談や問い合わせを受けた。相談者の内訳は地域住民から 27 件あった。 ・今後も関係機関や市民からの相談にサポートセンター相談窓口として在宅療養を中心に情報提供できるよう、各医療介護情報を定期的に更新し対応していく。 **【実施に向けての課題】** ・医療介護関係者の顔のみえる関係ができつつあるが、今後も感染症に留意しながら運営していくこと。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（オ）在宅医療･介護に関する相談支援

（２）在宅医療･介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・各月で開催しているサポートセンター会議は、医療介護勉強会や研修会開催の企画検討調整できる連携の場となっている。また地域包括ケア推進担当者会議に参加しており、相談対応について等連携ができている。 ・地域包括支援センター部会に参加しており、抽出した課題の事例提供、グループワーク研修会を開催した。今後も継続していく。 ・地域包括支援センターや地域包括ケア推進課と協働して情報更新し「こまきつながるくん連絡帳」医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーションの情報を掲載した。今後も情報の更新は定期的に行っていく必要があり、更新のための情報提供の協力をお願いしていく予定。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍の研修方法。	**【進捗状況と今後の予定】** ・各月開催のサポートセンター会議は医療介護勉強会や多職種研修会開催の企画検討調整ができる連携の場となっている。地域包括支援センターも輪番制で参加いただいており、相談内容についても報告しており連携ができている。 ・地域包括支援センター部会にも参加して、抽出した課題を包括支援センターから事例提供を受けて、グループワークの研修会も開催した。今後も連携して継続していく。 ・今後も、地域包括支援センターや地域包括ケア推進課と協働して定期的に情報更新し「こまきつながるくん連絡帳」にて情報を掲載していく。（医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション情報） ・地域包括支援センターの相談会に同行して在宅療養について相談対応している。 **【実施に向けての課題】** ・今後の研修方法
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・昨年同様、サポートセンター会議・管理者会・包括の部会等が毎月開催されることで、双方向での活動状況の情報共有ができている。 ・また、「医療とケアマネ連携一覧」等の情報についても随時更新して頂いている。 **【実施に向けての課題】** ・在宅医療・介護連携サポートセンターとは、十分な連携が図れており、現在、特に課題は見当たらない。	**【進捗状況と今後の予定】** ・昨年同様、サポートセンター会議・管理者会・包括の部会等が毎月開催されることで、双方向での活動状況の情報共有ができている。 ・今年度、「医療とケアマネ連携一覧」の更新が実施され、「こまきつながるくん連絡帳」に情報が掲載され、各事業所が活用できている。 ICT の環境にない事業所については、各包括で入手できるように配慮されている。 ・在宅医療に関する相談件数はあまり多くないが、センターからのレスポンスが早く、タイムリーな情報が入手でき、助かっている。 **【実施に向けての課題】** ・在宅医療・介護連携サポートセンターとは、十分な連携が図れており、現在、特に課題は見当たらない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（オ）在宅医療･介護に関する相談支援

（３）アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・現在、市内にふれあい･いきいきサロンは 80 ヶ所開設されている。今年度はコロナ禍でも稼働しているところが多く、地域の居場所、出向く見守りの場となっている。 ・サロンに支え合い推進員や地域包括支援センターが出向くことによって、地域の身近な相談窓口になっている。 **【実施に向けての課題】** ・昨年度課題に挙げた引きこもりや生活困窮者など、支援を必要とする人たちに、必要な情報が届いていなかったり、相談に来れない人、支援に繋がらない人への働きかけができなかった。 ・重層的支援体制整備事業が進められる中でアウトリーチ体制も整えていくことになるため、現段階から相談体制の仕組みを検討し、地域でのニーズ発見の目を増やすことが必要だと思われる。	**【進捗状況と今後の予定】** ・地域支え合い推進員のサロン訪問（R5.4～12 月）130 件。そのうち個別ケース対応 3 件（実稼働数：高齢者 2 件、障がい者 1 件）介護等など、ご近所や家庭内の相談も多くなってきている。 ・支え合い推進員や地域包括支援センターが出向くことでサロンが地域の身近な相談の場として定着してきている。 **【実施に向けての課題】** ・サロンでの福祉相談が気軽にできるようになったことで、サロン参加者が地域の目となり、地域の方々の生活の困りごとを専門機関へのつなげる役割をすることができるようになった。 ・今年度より地域生活課題である買物支援について、マックスバリュー㈱と連携した移動販売事業、社協のデイサービス車輌で行う買物支援などの事業も行ってきており、地域のつながりづくりの中でご近所の生活課題をキャッチできる場を増やしていきたいと考えている。 ・一昨年より課題に挙げている引きこもりや生活困窮者など、支援を必要とする人たちに、必要な情報が届いていなかったり、相談に来れない人、支援に繋がらない人への働きかけについては、重層的支援体制整備事業の中で検討していただきたい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（オ）在宅医療･介護に関する相談支援

（３）アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・広報こまき「知ってる？在宅医療」の掲載は中止となった。 ・「小牧市の在宅医療・介護」冊子の配布はサポートセンターの周知と市民からの相談ツールになっている。 ・在宅療養について、サポートセンター相談窓口の周知やアウトリーチ型相談体制の啓発方法を検討する. **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍にて在宅療養（かかりつけ医を持ちましょう）について出前講座ができていない。	**【進捗状況と今後の予定】** ・啓発ツールの検討。サポートセンターの周知と市民からの相談ツールを検討する。 ・在宅療養について、サポートセンター相談窓口の周知やアウトリーチ型相談体制の啓発方法を検討する。 今後、相談体制の仕組みを検討できるとよい。 **【実施に向けての課題】** ・在宅療養（かかりつけ医を持ちましょう）について啓発できていない
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度の出張相談については、以下の相談会を実施した。 ローソン移動販売出張相談・野口の郷出張相談 小針の郷出張相談・西部コミュニティセンター出張相談 ヴィレッジハウス山北出張相談・ドン・キホーテ UNY 桃花台出張相談 ナフコ二重堀店出張相談、大垣共立銀行出張相談、 ハロー薬局出張相談・公民館出張相談 ・12/6 より、新たな相談会として「イオン小牧店出張相談会」を開始。毎月一回、集客の多い日（火曜特売・20 日、30 日 5%オフ）に開催していく。客層は若い世代も多いため、高齢者だけでなく多世代へのアプローチも検討していく。 **【実施に向けての課題】** ・アウトリーチ型の相談体制は、今後も感染予防に努めながら定期的に実施していく予定。 ・with コロナとして商業施設等新たな場所での相談会の実施や地域包括支援センターへの啓発活動を展開していく必要がある。	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度の出張相談については、以下の相談会を実施した。 ローソン移動販売出張相談・野口の郷出張相談・たがたの郷出張相談・小針の郷出張相談・西部コミュニティセンター出張相談 ヴィレッジハウス山北出張相談・ドン・キホーテ UNY 桃花台出張相談 ナフコ二重堀店出張相談、大垣共立銀行出張相談、ハロー薬局出張相談・公民館出張相談・篠岡第２住宅予防相談、認知症カフェ出張相談、サロン・老人会出張相談 ・昨年より開始した「イオン小牧店出張相談会」は、薬局とタイアップして介護の相談だけではなく、健康相談にも対応するなど新たな展開となった。 **【実施に向けての課題】** ・アウトリーチ型の相談は、各包括ともに定期的に開催されているがどの包括も人員が充足しているとは言い難い状況下である。 今後、総合相談業務の増加、予防プランの直担当数の急増が見込まれていることから、現行の相談体制を継続していくためには、専門職の増員が課題といえる。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（１）多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・医療介護関係者に研修会を開催した。 第１回多職種連携研修会（対面とオンライン） テーマ：身寄りのない人への支援（現状と課題）52名 ※グループワーク 身寄りのない人への支援については課題が多い。今後も継続して研修会を開催し各関係者で課題については円滑な情報共有を行い連携が深まるとよい。 **【実施に向けての課題】** ・医療介護関係者が顔のみえる環境で話し合うことが連携を深める事につながる。コロナ禍で対面オンラインの開催方法は今後も続くと思われる。スムーズに開催できるよう調整が必要である。	**【進捗状況と今後の予定】** 医療介護関係者に多職種連携研修会を開催した。 ・第２回多職種連携研修会（オンライン開催）R5年３月 テーマ：本人の想いをつなぐACP（人生会議）29名 ACP総論（生き活き人生プロジェクト委員長） 事例提供（訪問看護ステーション） ※グループワーク ACP(人生会議)が難しい事ではなく日々の会話の中に想いがあることを家族友人支援者がキャッチできるとよい。地域でのACPの啓発につながるとよい。今後も継続して取り組んでいく。 ・第１回多職種連携研修会（対面開催）令和５年11月 テーマ：身寄りのない人への支援（現状と課題）31名 事例提供　地域包括支援センター権利擁護部会 ※グループワーク 医療介護関係者が話し合うことで多職種の視点が分かり情報共有ができ連携が深まる。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍で開催方法や医療介護関係者の参加意識にも変化が生まれた。対面オンライン両方で開催できるよう調整していく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（１）多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
板谷委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度の訪問看護部会も２～３ヶ月に１度オンライン会議を行っており、情報伝達や意見交換が行えている。 また、日々の問題点や疑問に対しては、部会グループ SNS を活用して相談できる体制ができている。 ・小牧市介護保険サービス事業者連絡会 訪問看護部会として昨年 7 月 27 日に「地域共生社会の実現に向けて～ユニバーサル・ホスピスマインド～」についての全体研修会を開催した。オンラインの開催であったが、12 事業所 29 名の方々に参加いただけた。 **【実施に向けての課題】** ・今回の研修会はオンラインであったが、一般社団法人エンドオブライフ･ケア協会の方々の協力もあり、グループワークを取り入れた工夫などあり、聴講だけでなく有意義な研修会となった。今後も多職種にも興味を持っていただける魅力ある研修づくりを行っていく必要がある。	**【進捗状況と今後の予定】** ・小牧市介護保険サービス事業者連絡会では、今年度も各職種部会主催で７回の全体研修会を実施した。 令和５年９月 21 日　居宅介護支援部会と訪問看護部会の共同開催で 「教えて！ここが知りたい訪問看護～医療保険と介護保険の違いを知ろう～」 を実施し、20 事業所 44 名の参加があった。 訪問看護部会主催の研修会としては、令和６年２月 14 日に 「ACP に繋がる『もしバナ』ってなに？～最期の時を自分らしく過ごすきっかけを体験しよう～」 の開催を予定している。 **【実施に向けての課題】** ・小牧市介護保険サービス事業者連絡会の登録事業所数は、現在 141 事業所あり、今年度の全体研修会では出席率の低さを課題と捉えている。 各職種部会担当制の研修会では、どうしてもその職種の専門性の強い内容となってしまう傾向がある為、次年度からは年間テーマを決め、2～3 部会を１グループとした横割り方式で、協同して研修の立案から開催まで実施していく方法で検討を進めている。 各事業所間での連携の重要性を再認識しながら、事業者連絡会の研修や行事を進めていく事を次年度の課題としていく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（１）多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
大野委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・10/21 に多職種連携研修を対面・オンラインのハイブリッド方式で開催。コロナ禍で ICT を使って改めて顔の見える関係づくりを始められたのはとても有意義なことだと考える。 ・特に今回は、現在の地域課題である「身寄りのない人の支援」にテーマを設定することができた。地域での医療・介護連携に係る課題を取り上げ、検討していくことが大切だと思われる。 **【実施に向けての課題】** ・多職種連携研修では事例検討が主となるが、その話し合いの中に出てきた発言を取り上げたり、地域ケア会議として継続検討したり、この研修を地域課題の解決へ結びつけるきっかけとして活用できるのではないか。今回のテーマでも様々なアイデアがあり、これで終わってしまってはもったいない。 ・介護サービス事業所では、令和５年度中に BCP を作成することが義務化されており、小牧スタイルの医療・介護連携を市内事業所の BCP に盛り込むなど、市内で連携がとれる計画策定が望ましい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度、介護支援専門員連絡協議会では、地域包括ケアシステムの深化に向けたテーマを設定して研修会を開催してきた。 ① ケアマネジャーと訪問看護の連携 ② 民生委員・児童委員との連携と災害時個別避難計画の理解 ③ ヤングケアラーの実態と支援 ④ 生活支援整備におけるケアマネジャーが必要とする課題についての検討 ・医療関係機関とともに、障がいや子育てなどの他制度やインフォーマルサポートとの連携を検討し、多職種のネットワークを地域全体に広げていくことをめざしている。 ・特に、民生児童委員との意見交換は、今年度初めて行い、双方の役割を理解し、どんな時に相談することができるのか、協力体制を作るきっかけとすることができた。 ・また、ヤングケアラーの研修は、高齢者ばかりでなく様々な視点から家族支援を行うことの大切さを理解し、他分野の職種・機関との連携の重要性に気づくことができた。 **【実施に向けての課題】** ・今年度行ってきた研修をきっかけとして、専門職のスキルアップとともに、様々な機関が連携・協働していくことで市内に幾重にも専門職のネットワークを張り巡らし、地域で困っている人たちを受け止め、支えていく仕組みづくりをめざしていきたいと考えている。 ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、他市町と比較する中で、小牧市ではまだ進められていない課題点に着目し取り組んでいく必要がある。 ・そのためにも、地域包括支援センターが行う地域ケア会議、他職種カンファレンス、ケアマネ支援会議等で洗いだしてきた地域生活課題を整理し、どのように課題解決を進めるのか、具体的な動きをつくる必要がある

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（１）多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の｢進捗状況と今後の予定｣｢実施に向けての課題｣）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・研修会は、多少のスケジュール調整や変更は生じたが予定された計画は、実施することができた。 ・対面開催の場合は、密にならないように人数制限を設け、健康チェックや手指消毒・定期的な換気等の感染予防対策に努めた。 ・対面式と WEB 併用のハイブリッド方式の場合は、音声の不具合や参加者のネット環境の不具合など、ＷＥＢ開催におけるネット環境の問題や技術的な課題が生じた。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ感染予防対策を行いながら、今後も継続して実施していく。 ・WEB 開催は、WEB 環境の整備や主催者側の習熟度も検討課題と考えられる。	**【進捗状況と今後の予定】** ・今年度は、予定された研修会は、計画通りに対面開催で実施できている。 **【実施に向けての課題】** ・特に実施に向けての課題は見当たらないが、アフターコロナとなった今後も感染予防対策を実施していく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（２）在宅医療･介護の連携研修、勉強会等の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・近年、終末期に係る高齢者が多くなったこともあり、令和４年度は「グリーフケア」に関する研修を実施。ケアマネジャーに終末期～死後のケアマネジメント・家族支援について学習した。 ・今のところコロナの影響で現場が煩雑であり、訪問看護等の他職種との勉強会が進んでいない。 **【実施に向けての課題】** ・昨年度に引き続き、医療・介護相互の連携研修の必要性は大きく感じる。現段階で相互の連携にどのような課題があるのかを見出し、課題に応じた取り組みを計画したい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・前述している入退院連携、訪問看護との連携等、医療・介護の連携においては課題点は多く、各機関が研修会などを実施している。 ・今後は、令和６年度報酬改正にもみられる入退院連携、栄養・口腔・リハビリ（体力増進）の一体的取り組み、看取り対応、LIFE を活用した機能回復訓練などが機能できるよう課題点を焦点化して関係機関がスキルアップできるように研修の企画を検討したいと考えている。 **【実施に向けての課題】** ・関係機関がそれぞれで研修を実施しているため、全体的に課題を整理し、効率的効果的に研修を実施できないか検討が必要。 ・専門機関それぞれが把握している課題点を共有することも大切だと考える。
河内委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・R4 年度はリハビリテーション連絡会としてリハ職向けの勉強会を２回実施。本年度内にもう １ 回開催予定。今後、症例発表を中心にリハ職の知識・技術向上を目的に行っていく。さらに、多職種の参加を募り、連携を図っていく。 ・保健所依頼の「難病友の会」への勉強会を施行。今後も継続して行っていく。 ・多職種カンファレンスは、小牧市・各施設の協力もあり、参加可能となり、誰かしらセラピストが参加できる状況ができている。今後も継続して参加していく。 **【実施に向けての課題】** ・参加者が限られており、セラピストの意識改革が必要。	**【進捗状況と今後の予定】** ・R5 年度は、リハビリ職を中心に勉強会を３回実施。R6 年度からは、定期開催とし、他職種の方にも参加を募っていく予定。 ・多職種カンファレンスには、参加できている。このまま継続して参加していく。 **【実施に向けての課題】** ・勉強会の題材 ・勉強会参加者の確保

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（カ）医療･介護関係者の研修

（２）在宅医療･介護の連携研修、勉強会等の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・医療介護関係者への勉強会開催（対面とオンライン） 第１回医療介護勉強会～みんなで支える在宅療養～45 名 テーマ：認知症について 第２回医療介護勉強会～みんなで支える在宅療養～39 名 テーマ：ACP の取り組みについて **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍で今後も対面とオンラインの同時開催が必要になる。ネット環境　や音声の課題があるので改善できるよう調整が必要である。	**【進捗状況と今後の予定】** ・医療介護関係者への勉強会の開催（対面開催） ３回シリーズで開催 テーマ：介護が必要となる疾患を学ぼう～運動器の疾患について～ 第１回　変形性膝関節症の基礎　整形外科医師　47 名 第２回　病院でのリハビリについて　病院理学療法士　36 名 第３回　在宅でのリハビリについて　訪看理学療法士　35 名 ・今後も、在宅療養を支えるために、医療に特化した内容で、実践に役立つような在宅と繋がる勉強会を継続していく。 **【実施に向けての課題】** ・対面とオンライン開催ができるよう準備はする必要があるが、ネット環境等課題がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（キ）地域住民への普及啓発

（１）市民向け講演会の実施

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
伊藤委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会の開催を見送った。また、医療・介護の業務が感染対策等で逼迫する中、動画や DVD 作成のために頻回に集まることは難しく、動画掲載や DVD 配布の検討までには至らなかった。 ・上記取り組みはできなかったが、広報こまき１１月１日号で「生き活き人生プロジェクト」監修のもと、ACP の特集記事を掲載し、啓発を行った。 **【実施に向けての課題】** ・新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しつつ、再開のタイミングを図っていく。	**【進捗状況と今後の予定】** ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和４年度は講演会の開催を見送ったが、今年度については ２ 月 24 日（土）午後２時からまなび創造館５階あさひホールにて「おうちに帰ろうー入院中から考える在宅療養のあれやこれー」をテーマに寸劇とパネルディスカッションを開催する予定。 **【実施に向けての課題】** ・特になし。

（２）在宅医療･介護に関する普及啓発

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・広報こまきの「知ってる？在宅医療」コーナーは、８ 月から諸事情により中止となった。 ・「小牧市の在宅医療･介護」冊子を医療介護関係機関に訪問したおり説明の上配布している。 ・配布した冊子は市民からの相談に繋がっている。今後市民向け出張講座も関係機関と協働して開催していきたい。 ・新任民生委員・児童委員研修会にてわた史ノートと在宅医療・介護について説明して協力をお願いした。 ・介護展「在宅医療連携」に出展して在宅療養等啓発していく。 **【実施に向けての課題】** ・コロナ禍で出向いて啓発は困難なことが多い。	**【進捗状況と今後の予定】** ・市民向け出張講座も関係機関と協働して啓発している。 ・「小牧市の在宅医療･介護」冊子を医療介護関係機関に訪問したおり説明して配布し、市民からの相談に繋がっている。 ・介護展「在宅医療連携」に出展して在宅療養等啓発した。 ・今後も市民向け出張講座も関係機関と協働して開催していきたい。 **【実施に向けての課題】** ・感染状況を注視しながら啓発をしていく。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（キ）地域住民への普及啓発

（３）サロン等における在宅医療･介護に関する取り組み

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
加藤委員 《前回報告》 佐々木前委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・新型コロナウイルス感染症の影響で出向できずにいる。 **【実施に向けての課題】** ・新型コロナウイルス感染症の状況が改善し次第、講座の開催をしたい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・新型コロナウィルス感染症の影響で出向していなかったが、依頼があれば出向可能である。 **【実施に向けての課題】** ・依頼があれば講座の開催をしたい。
河内委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・こまき山体操は、２回/月開催。来年度も継続して行っていく。 ・こまき山体操振り返り勉強会をサロンのリーダー、ボランティアの方々を中心に施行。今年度は、三月にもう一度行う予定。今後も要請があれば行っていく。 **【実施に向けての課題】** ・社協からの依頼で動いており、もう少しサロンのリーダーやボランティアの方々との連携を図っていきたい。	**【進捗状況と今後の予定】** ・こまき山体操は、随分と普及した。今後は、普及活動でなく評価の方に力を入れていく。 ・サロンに対する出前講座を再開する。 ・今後、引きこもりの方に対する運動指導等を小牧市の介護予防事業として行っていく予定。 **【実施に向けての課題】** ・こまき山体操の効果判定をどのようにしていくのか？評価方法の見直し等考えていく必要がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（キ）地域住民への普及啓発

（４）わた史ノートの普及･啓発

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の｢進捗状況と今後の予定｣｢実施に向けての課題｣）	令和６年１月時点の ｢進捗状況と今後の予定｣、｢実施に向けての課題｣等
伊藤委員	**【進捗状況と今後の予定】** ･わた史ノートの出前講座 令和４年 12 月末時点：４回 **「生き活き人生プロジェクト」** ･学校･教育関係 令和４年６月に小･中学校全 25 校を対象に ACP やわた史ノートについてアンケート（命の大切さを学ぶ授業（いのちの授業））を実施した。｢講師の派遣があれば活用して授業を行いたいですか｣という問いについては半数以上が｢はい｣と回答された。今後はプロジェクト内や学校教育側と協議していく。 ･介護関係 令和４年 11 月 21 日に医療･介護勉強会（市民病院の ACP の取り組みについて学ぶ）を実施した。 ･市民向け関係 啓発ポスターを作成し、社会福祉協議会、各地域包括支援センター、医療機関、各市民センター三師会等に配付。また、広報こまき 11 月１日号の ACP の特集記事の内容検討を行い、その中でわた史ノートの啓発を行った。 ･わた史ノートの改訂 令和６年度に改訂を行う予定で、令和５年度夏ごろまでに生き活き人生プロジェクトの中で変更案を検討していく。 **【実施に向けての課題】** ･いのちの授業については、｢時間が取れない｣、｢どのように教えて良いか分からない｣などの意見がある中、｢講師の派遣があれば活用したい｣という意見も多くあったため、内容･実施方法について、学校教育側と相談していく必要がある。 ･わた史ノート普及に向け、その活用方法については正しく周知する必要がある。そのためにも、今後は、活用を支援する専門職に向けた研修や勉強会などについても実施する必要がある。	**【進捗状況と今後の予定】** ･わた史ノートの出前講座 令和５年 12 月末時点：１回 **「生き活き人生プロジェクト」** ･いのちの授業 ９月 26 日、プロジェクト員数名で大垣市の中学校にいのちの授業への先進地視察を行った。大垣市での授業は、がん教育の一環として実施されていたが、大垣市での取り組みを参考にしながら、小牧市で実施する内容を検討していく。 ･わた史ノートの改訂 令和６年秋頃に実施予定。現在、内容やページ構成等の議論は大詰めを迎えている。令和６年度に入ると同時に印刷業者選定の手続きを行い、軽微な修正はプロジェクトの中で校正作業として進めていく。また、併せて出前講座での説明内容に修正･補足があるかの検証を地域包括支援センター連絡会議権利擁護推進部会とも連携して実施していく。 **【実施に向けての課題】** ･小牧市で実施する｢いのちの授業｣の内容を検討するにあたり、学校教育側やがん支援を実施している保健センターなど、関係する部署との連携や擦り合わせが必要。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（キ）地域住民への普及啓発

（４）わた史ノートの普及･啓発

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・「わた史ノートの改訂」のため、令和５年８月頃を目途に構成を検討。令和６年改訂版を目指していく予定をしており、 権利擁護部会で、「わた史ノート啓発講話」アンケートを目下作成している。 ・「生き活き人生プロジェクト」で話し合われた「体験型講習会」の講師候補として、権利擁護部会メンバーが挙がっている。 **【実施に向けての課題】** ・「生き活き人生プロジェクト」と権利擁護部会が連携して「わた史ノート」の改訂や「体験型講習会」の実施について検討していく必要がある。 ※「わた史ノート」のどこが書きづらいかなどの検証について、権利擁護部会がこれまでの講話の中で気づいたことを中心に整理していく。	**【進捗状況と今後の予定】** ・「生き活き人生プロジェクト」と連携し、 「わた史ノート」の改訂は、現在進行形で着々と進めており、来年度中に改訂版が完成する予定。 ・具体的には、第６回生き活き人生プロジェクトチーム会議にて、「わた史ノート」の全体の見直しと修正を図り、３月頃に市に提出できる事を目指している。 **【実施に向けての課題】** ・課題は、特に見当たらない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（※）在宅医療･介護連携に関する関係市区町村の連携

（１）サポートセンター連絡会議

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・尾張北部医療圏と尾張中部医療圏サポートセンター（5 事業所）と近隣保健所（3 保健所）にて在宅医療･介護情報交換会を 6 回開催した。 ・今年度は新たに、広域連携会（8 事業所）を 3 回開催した。オンライン開催。 ・今後も定期的に開催し在宅医療介護連携推進事業について各市町の取り組みを情報共有する予定。 **【実施に向けての課題】** ・感染対策を行い対面で開催してきたが、今後感染状況によりオンライン開催も対応する。	**【進捗状況と今後の予定】** ・尾張北部医療圏と尾張中部医療圏の在宅医療介護連携推進事業担当事業所（5）にて在宅医療介護情報交換会を６回開催した。 近隣の保健所（3）も参加しており広域で情報共有ができている。 今後も継続して開催の予定。新たに次年度は一宮担当者も参加予定。 ・広域連携会（7 事業所）をオンラインにて 3 回開催した。今後も継続する。新たに一宮担当者も参加予定。 ・今後も継続して開催し、在宅医療介護連携推進事業について各市町の取り組みを情報共有する。 **【実施に向けての課題】** ・感染対策を行いながら対面開催した。オンライン開催にも対応する。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

（※）在宅医療･介護連携に関する関係市区町村の連携

（２）広域連携の推進

報告者	前回報告 （令和５年２月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」）	令和６年１月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
増井委員	**【進捗状況と今後の予定】** ・在宅医療サポートセンターが実施している在宅医療･介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。 ・尾張北部圏域在宅医療･介護情報交換会については、県医療計画課からの「新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化」の通知に基づき中止した。 **【実施に向けての課題】** ・新型コロナウイルス感染症による影響や地域の課題を見直し、検討していく必要がある。	**【進捗状況と今後の予定】** ・地域の在宅医療サポートセンターが実施している在宅医療介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。 ・尾張北部医療圏在宅医療介護連携推進支援事業意見交換会について、尾張北部医療圏が愛知県入退院支援事業のモデル医療圏となっているため、市町の実務者の情報交換･意見交換を実施した。（新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和２～４年度は中止） **【実施に向けての課題】** ・地域の状況を把握しながら、尾張北部圏域の関係市町との連携に必要な情報共有と意見交換を図っていく必要がある。